

令和6年度 大田区立大森第三小学校 自己評価 報告書

令和7年3月4日

○ 本校の概要

○本校は、今年度100周年を迎え、地域と密接に関わりながら発展してきた。今年度は、おおたの未来づくり科について東邦大学大森病院と連携した食育を中心に健康教育に取り組んでいる。校内の研究主題は「未来をつくる健康教育」とし、生涯にわたって健康を保持、増進する資質能力や他者や社会の安全に貢献できる資質・能力をもった児童を育てるために全教職員で教育活動に取り組んでいる。また、基礎的・基本的な学力の定着を目指し、授業改善を行いながら粘り強く日々の授業を展開しており、年々伸びが見られるようになってきている。学習習慣の定着と授業改善によって、今後もこの傾向を維持していく。また、生活面においては、規範意識や基本的な生活習慣に関して課題が見られる。研究推進委員会、生活指導部を中心に継続的に規範意識、基本的な生活習慣の定着に向けて取り組む。日々、「挨拶ができる学校」を目指し、挨拶運動等の取組を進めてきたことで、地域からも認められる成果を得るまでに至っている。今後も「挨拶」「言葉遣い」に力を入れ、家庭・地域との連携を強化し、規範意識の向上・基本的な生活習慣の定着に努める。

○本校の特色として「地域との連携」を挙げることができる。「人との関わり・地域との関わり」と称して、近隣教育施設との連携や、大森町・梅屋敷の二つの商店街や中小の町工場と連携した学習、「スクールサポートおおさん」を中心とした地域人材の活用による授業の展開などをより一層推進する。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

| 大項目 | 方向性 | 取組内容 | 取組指標 | 取組評価 | 目標に対する成果指標 | 成果評価 | これまでの取組 今後の改善策 | 学校関係者記入欄 | | |
|--|---|---|-------------------------------|------|---|---|---|----------|----|---|
| | | | | | | | | 評価 | 人数 | コメント |
| 生予個性測別 る困目力難標 をな1育未成来し 社会を創造的に | 社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。 | ①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 | 3 | 「健康教育を推進し、基本的な生活習慣の確立に努めている。」と保護者アンケートで回答した割合 A+B 95.8% | 4 3: 85%以上 3: 75%以上 2: 65%以上 1: 65%未満 | ○キャリアサポートや学級会で自己評価の場を定期的につくり、力の育成を図った。さらに、STEAM教育についての研修をもち、本校における取組を確立し、実践する。 ○話し合い活動から授業での意見収集、分析などについて、タブレット端末を活用して積極的に授業を展開している。 ○情報活用能力の育成については、指導計画に基づいた教育活動を行っている。 ○校内研究では「未来をつくる健康教育」に取り組む、様々なゲストティーチャーを招き、児童の学習意欲を高めることができた。1年生から6年生まで6年間通して健康教育を行うことにより、児童に健康への意識が高まった。 今年度は「未来づくり科」の先行実施校として、「未来をつくる食プロジェクト」として、東邦大学と連携して研究を進めた。食物繊維、減塩、代替食の題材は、こどもたちの興味関心をもたせ、学習意欲が高めさせる良いテーマであった。次年度継続して行えるよう検討する。 | A | 9 | ○社会の様々な課題を自分事として捉えること、例えば児童一人一人が考える防災を実践してみるなど「学ぶ」を体験することで身に付けていくのではないかと。 ○孫からセロトニン、メラトニンの説明を聞き、感動した。 ○朝食の不摂生や遅寝遅起きなどの話は毎年耳に入ってくるが、今年度は減っていたように感じた。1年の健康教育の成果が現れているのではないかと。継続的な展開を望んでいる。 |
| | | | 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | | | | B | 3 | |
| | | | 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | | | | C | 0 | |
| | | | 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | | | | | D | 0 | |
| お世個別 おと目 たをつ 標担な うが 人る 材国 際育 都成 市し ます | 英語での実践的なコミュニケーション能力を高めることにも、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。 | ①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 | 3 | 「英語力の向上や豊かな国際感覚の育成を図っている。」と保護者アンケートで回答した割合 62.7% | 3 3: 85%以上 3: 75%以上 2: 65%以上 1: 65%未満 | ○ALTと英語講師、担任により充実した外国語教育が行われている。英語カフェなどを通して英語に慣れ親しむ機会を作っているが、児童に浸透が薄いため、実施回数が少ない中でも内容の充実を図る。掲示物を作成するなど外国語に触れ合う機会を増やしたい。授業計画を立て、段階を踏んで英語に慣れ親しむ英語力やコミュニケーション力を向上の素地を育てる。国際化が進んでいる中で、いじめ・差別に繋がることのないよう他国への理解は今後も大切にしていってほしい。 ○人権教育として、ポスターや標語、パンフレットや動画による指導、道徳での授業、学活での話し合い等を行った。エールウィークでは、全校朝会での講話や全学級で命の授業を行い、人権感覚を養ったり、お互いを認め合ったりすることができている。 ○NHK教材などを活用しながら、SDG'sの取り組みを教育活動として取り組んでいる。 | A | 9 | ○活きる英語教育をどんどん学ばせてほしい。 ○時にふれ、命の大切さをこれからも指導して、人間性を育ててほしい。 ○「平和」について考える時間があると良いのではないかと。 ○児童館に来るお子さんも国籍が多様化し、特に英語でのコミュニケーションが不可欠となる場面が増えてきたように感じている。また、児童同士の気持ちの表現などを学ぶ必要性を強く感じる。大人も含めて、より一層の向上が児童にもあるべき。 |
| | | | 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | | | | B | 2 | |
| | | | 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | | | | C | 1 | |
| | | | 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | | | | | D | 0 | |
| た一個 め人別 の目 基と標 礎り3 が個 る性 力と能 育力 成を し発 揮す る | 児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。 | ①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 | 4 | 「基礎的な学力が身に付くように指導している。」と保護者アンケートで回答した割合 94% | 4 3: 85%以上 3: 75%以上 2: 65%以上 1: 65%未満 | ○算数では、習熟度別少人数指導を実施し成果をあげている。全体的に習熟が不十分な児童に対して授業で十分に手厚く指導することができていないことが見られるため、放課後補習を充実させ、確かな学力の育成を図っている。 ○校内研究として健康教育に力を入れて取り組んでいる。体育、保健体育以外の総合的な学習の時間でも健康教育、食育が推進できた。朝や放課後のSUN3タイムで体を動かす機会を確保することができている。学校全体での健康教育の取り組みを確実にしている。 ○小中連携の会での中学校からの情報をもとに、小学校段階で必要な知識を確実に身に付けられるよう、個別に確認している。小中連携校の授業観察を通して日頃の児童の様子や授業内容を知ることで中学校までどのように学びを行うべきなのかを、考え直す機会へとつながった。また、幼保小で連携を取り、幼稚園や保育園での児童の様子について引継ぎを行っている。 | A | 10 | ○道徳授業を見学した際に楽しそうだと、とても元気で素直だった。一つの課題名を書き、その内容についてそれぞれが席を移動しながら相手の答えを見る。そのときの言葉の反応が早いことと表現力の豊かさにとても楽しく授業参観ができた。 ○児童館では、下校後の学習時間には皆が真剣に取り組んでいる。タブレット学習への慣れも進み、色々な形での学習への姿勢に感心している。様々なきっかけから学習意欲が増していくことをさらに期待している。 |
| | | | 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | | | | B | 2 | |
| | | | 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | | | | C | 0 | |
| | | | 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | | | | | D | 0 | |
| た一個 め人別 の目 基と標 礎り3 が個 る性 力と能 育力 成を し発 揮す る | 児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。 | ②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 | 3 | 「遊びや運動など、体を動かす機会を確保している。」と保護者アンケートで回答した割合 97.3% | 4 3: 85%以上 3: 75%以上 2: 65%以上 1: 65%未満 | ○算数では、習熟度別少人数指導を実施し成果をあげている。全体的に習熟が不十分な児童に対して授業で十分に手厚く指導することができていないことが見られるため、放課後補習を充実させ、確かな学力の育成を図っている。 ○校内研究として健康教育に力を入れて取り組んでいる。体育、保健体育以外の総合的な学習の時間でも健康教育、食育が推進できた。朝や放課後のSUN3タイムで体を動かす機会を確保することができている。学校全体での健康教育の取り組みを確実にしている。 ○小中連携の会での中学校からの情報をもとに、小学校段階で必要な知識を確実に身に付けられるよう、個別に確認している。小中連携校の授業観察を通して日頃の児童の様子や授業内容を知ることで中学校までどのように学びを行うべきなのかを、考え直す機会へとつながった。また、幼保小で連携を取り、幼稚園や保育園での児童の様子について引継ぎを行っている。 | A | 10 | ○道徳授業を見学した際に楽しそうだと、とても元気で素直だった。一つの課題名を書き、その内容についてそれぞれが席を移動しながら相手の答えを見る。そのときの言葉の反応が早いことと表現力の豊かさにとても楽しく授業参観ができた。 ○児童館では、下校後の学習時間には皆が真剣に取り組んでいる。タブレット学習への慣れも進み、色々な形での学習への姿勢に感心している。様々なきっかけから学習意欲が増していくことをさらに期待している。 |
| | | | 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | | | | B | 2 | |
| | | | 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | | | | C | 0 | |
| | | | 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | | | | | D | 0 | |
| た一個 め人別 の目 基と標 礎り3 が個 る性 力と能 育力 成を し発 揮す る | 児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。 | ③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 | 3 | 「遊びや運動など、体を動かす機会を確保している。」と保護者アンケートで回答した割合 97.3% | 4 3: 85%以上 3: 75%以上 2: 65%以上 1: 65%未満 | ○算数では、習熟度別少人数指導を実施し成果をあげている。全体的に習熟が不十分な児童に対して授業で十分に手厚く指導することができていないことが見られるため、放課後補習を充実させ、確かな学力の育成を図っている。 ○校内研究として健康教育に力を入れて取り組んでいる。体育、保健体育以外の総合的な学習の時間でも健康教育、食育が推進できた。朝や放課後のSUN3タイムで体を動かす機会を確保することができている。学校全体での健康教育の取り組みを確実にしている。 ○小中連携の会での中学校からの情報をもとに、小学校段階で必要な知識を確実に身に付けられるよう、個別に確認している。小中連携校の授業観察を通して日頃の児童の様子や授業内容を知ることで中学校までどのように学びを行うべきなのかを、考え直す機会へとつながった。また、幼保小で連携を取り、幼稚園や保育園での児童の様子について引継ぎを行っている。 | A | 10 | ○道徳授業を見学した際に楽しそうだと、とても元気で素直だった。一つの課題名を書き、その内容についてそれぞれが席を移動しながら相手の答えを見る。そのときの言葉の反応が早いことと表現力の豊かさにとても楽しく授業参観ができた。 ○児童館では、下校後の学習時間には皆が真剣に取り組んでいる。タブレット学習への慣れも進み、色々な形での学習への姿勢に感心している。様々なきっかけから学習意欲が増していくことをさらに期待している。 |
| | | | 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | | | | B | 2 | |
| | | | 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | | | | C | 0 | |
| | | | 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | | | | | D | 0 | |
| た一個 め人別 の目 基と標 礎り3 が個 る性 力と能 育力 成を し発 揮す る | 児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。 | ④校内研究「未来をつくる健康教育」の取組を通して、生涯にわたって健康を保持、増進する資質能力の育成を図っている。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 | 4 | 「基礎的な学力が身に付くように指導している。」と保護者アンケートで回答した割合 94% | 4 3: 85%以上 3: 75%以上 2: 65%以上 1: 65%未満 | ○算数では、習熟度別少人数指導を実施し成果をあげている。全体的に習熟が不十分な児童に対して授業で十分に手厚く指導することができていないことが見られるため、放課後補習を充実させ、確かな学力の育成を図っている。 ○校内研究として健康教育に力を入れて取り組んでいる。体育、保健体育以外の総合的な学習の時間でも健康教育、食育が推進できた。朝や放課後のSUN3タイムで体を動かす機会を確保することができている。学校全体での健康教育の取り組みを確実にしている。 ○小中連携の会での中学校からの情報をもとに、小学校段階で必要な知識を確実に身に付けられるよう、個別に確認している。小中連携校の授業観察を通して日頃の児童の様子や授業内容を知ることで中学校までどのように学びを行うべきなのかを、考え直す機会へとつながった。また、幼保小で連携を取り、幼稚園や保育園での児童の様子について引継ぎを行っている。 | A | 10 | ○道徳授業を見学した際に楽しそうだと、とても元気で素直だった。一つの課題名を書き、その内容についてそれぞれが席を移動しながら相手の答えを見る。そのときの言葉の反応が早いことと表現力の豊かさにとても楽しく授業参観ができた。 ○児童館では、下校後の学習時間には皆が真剣に取り組んでいる。タブレット学習への慣れも進み、色々な形での学習への姿勢に感心している。様々なきっかけから学習意欲が増していくことをさらに期待している。 |
| | | | 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | | | | B | 2 | |
| | | | 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 | | | | | C | 0 | |
| | | | 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | | | | | D | 0 | |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|--|---|--|---------------------------------------|---|
| 学個別力・標4 教師力を向上させます | 校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働ける魅力的な環境づくりを進めます。 | ①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | 「ゲストティーチャーや体験活動を取り入れるなど授業を工夫している。」と保護者アンケートで回答した割合86.7% | 4:85%以上 3:75%以上 2:65%以上 1:65%未満 | 4 | ○100周年事業として、地域の特色を生かしたカルタづくりを行った。各学級でカルタの文を考えるなど学校全体で協同学習を行った。健康教育でゲストティーチャーを招いた際は保護者に周知して公開した。 ○残業時間が多い教員がいることから、業務内容の適正化に課題があると考えられる。また、業務量の多さから、児童と向き合う時間の確保が難しいことが多々ある。業務を効率的・計画的に、そして全体で協力をして行い1人1人と向き合う時間の確保を行う。 ○校内研究だけでなく、日頃から授業を参観し、お互いのアドバイスが出来るるとよりよい授業づくりにつながるために時間を作るよう努める。学年間で授業の参観をしたり、研究授業の事前研で他学年の授業について検討したりすることができた。 | A 11 B 1 C 0 D 0 | ○100周年で見せていただいた児童の作品や演奏はとても素晴らしく協同学習の成果に感動した。 ○児童館学童でもカルタづくりとその実施について楽しそうに児童が語ってくれた。多様なスタイルで授業への感心や学習意欲がより高まるのではないかと。先生方の普段の御苦労にも感謝している。 |
| | | ②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | | | | | | |
| | | ③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。 | 4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | | | | | | |
| | | ④教員が相互に授業参観を行ったり、主任教諭によるOJT研修を行ったりして、授業力を向上させる取組を行っている。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | | | | | | |
| た自個 め別の 学し標5 びをい き支 援し ますと 生き る | 困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。 | ①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | 「いじめや不登校などの問題解決に努めている。」と保護者アンケートで回答した割合58.2% | 4:85%以上 3:75%以上 2:65%以上 1:65%未満 | 4 | ○スクールカウンセラーを活用し、適切な指導が行えるようにしている。特別支援委員会を定期的に行い、課題のある児童について全体で共有し検討を重ねることができた。配慮が必要な児童への対応について特別支援教室巡回指導教員や学級担任や保護者と連携して連絡を密にする。 ○いじめの早期発見、早期対応に、担任、学年、生活指導、管理職が連携を取り、学校全体の問題として組織的に対応できていると考える。多くの目で見守れるよう、いじめに関する情報をこれからも共有する。 ○あいさつチャレンジなどの取組により、全校児童が挨拶運動に取り組むことができた。 | A 9 B 2 C 1 D 0 | ○いじめを全部なくすることはできないと思うが、できる限り減らしてほしい。 ○こどもの権利条約に「生きる権利」「守られる権利」「参加する権利」とあり、虐待やいじめ、体罰、不登校などの問題は家庭や学校、社会などの要因が重なって難しいが、この先もよろしくお願したい。 ○いじめ、不登校児に対し積極的に取り組んでいることが良く分かる。今後も継続していただきたい。 ○一昨年に比べ、いじめや嫌なことがあった等の児童からの訴えをあまり聞かなくなったように感じる。児童館でも小さなサインを見逃さず、つらい思いや不登校などにつながらないように注意深く見守る。 |
| | | ②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。 | 4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | | | | | | |
| | | ③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 4 | | | | | | |
| | | ④全校児童が挨拶チャレンジに参加し、目を見て挨拶をしたり、相手の名前を呼んで挨拶したりできる児童を育成する取組を行っている。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 4 | | | | | | |
| 安柔個 心軟別 なで目 教創標 育造6 環的 境な を学 習空 間と 安全 | 学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。 | ①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | 「安全で過ごしやすい学習環境を整備している。」と保護者アンケートで回答した割合94.2% | 4:85%以上 3:75%以上 2:65%以上 1:65%未満 | 4 | ○用務の働きが大きく、気持ちの良い環境で学校生活ができています。商店街等の地域施設や地域住民とのかわりの機会は計画されているため、今後も続けていけるように、連携を深める。 ○毎月の避難訓練や安全指導日に、消防や警察などの関係機関と連携を取り、防災教育を進めている。登下校指導は、引き続き教職員で行う必要があると考える。 ○授業で児童の意見を集約したり、発表したりすることにタブレット端末を有効利用している。タブレット端末を活用することで児童の考える幅が広がり知識も増えている。今後も、安全面に考慮しつつ活用していく。 ○クロームブックの修理が滞っており、長期間タブレット端末が使用できず、教育活動に支障が出ている児童がいる。区に現状を報告し、状況が改善されるよう働きかけている。 | A 11 B 1 C 0 D 0 | ○タブレット学習が浸透していったのと比例し、それに伴うトラブルも増えることは想像できる。また、金曜日など下校時の荷物が多さ、重さなどにも気の毒に感じるときがある。時代に合ったアイコンでもあるため、よりスムーズな活用につながることも期待している。 |
| | | ③避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 4 | | | | | | |
| | | ④タブレット端末を有効利用し、児童が考えたり表現したりする力を向上させるための取組を進めている。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | | | | | | |
| | | ①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | | | | | | |
| 学地学 校域校 をコ・ ミ家標 ュ庭7 りニ テ地 域の 核連 携し て協 働に よる | 地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。 | ②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | 「地域の人や施設と関わり、地域を大切にしている取組をしている。」と保護者アンケートで回答した割合91% | 4:85%以上 3:75%以上 2:65%以上 1:65%未満 | 4 | ○生活科や社会科、総合的な学習の時間などで地域の商店街や町工場への見学やインタビューを行い、学習を深めている。またスクールサポートおおさんの皆さんを中心に保護者ボランティアの協力を得ている。(学校外へ出るときの引率者集め、生花体験講師との折衝等)今年度と同様に継続して、夏のわくわくスクールなどで地域の方によるワークショップを行うことで児童の体験的な活動の幅を広げる。 ○交通安全週間には、町会や地域の方の協力を得て、児童の登下校の見守りを実施している。 ○ホームページや学年だよりを通じて、家庭教育に関する情報の発信をしている。また、ホームページや学びポケット、学年だより等で学習の様子や伝わるよう情報を発信している。 ○開校100周年記念行事では、実行委員会と地域とが連携を深め、行事を盛り上げることができた。 | A 10 B 2 C 0 D 0 | ○100周年記念行事について、校長、副校長、職員、実行委員、地域の協力等があり、素晴らしい周年を迎えられた。「皆様にお疲れ様。」と伝えたい。参加させていただき、ありがとうございます。ありがとうございました。 ○100周年で大森第三小は地域コミュニティの核として、しっかり役割を果たして、子どもたちもそれを勉強していると感じた。 ○100周年行事、先生、PTAの皆様が頑張ったので大変よかったです。 ○周年行事への熱が地域へと広がっていき、あのような素晴らしい式典へと結ばれたと感じている。また、1年前から方向性や連携についても御説明いただき、ありがたく思っている。また、日々の挨拶や交通安全への取組、生活科見学などの1年を通じた活動にも応援と協力を続けていきたい。 |
| | | ③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | | | | | | |
| | | ④大森町・梅屋敷の二つの商店街や町工場と連携して、児童が地域住民や地域施設と関わり、地域のよさを理解、尊重する授業を実施している。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | | | | | | |
| | | ①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。 | 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | | | | | | |